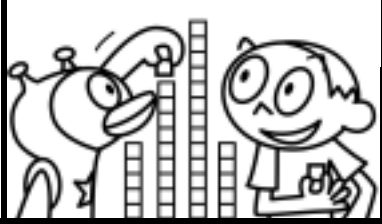


算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 5年 / 量と測定 / 平均 / 理解シート

ほ
歩はばは，どうやって求めればいいのか



歩はばは，たとえば10歩ずつ5回歩いたきよりの，1回あたりの平均のきよりを10でわればいんだよ。歩はばと歩数から，きよりを求めることができるんだよ。



歩はばを求めて，きよりをはかってみましょう。

下の表は，10歩ずつ5回歩いたときの記録です。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
6.2m	6.4m	6.2m	6.3m	6.3m

① 歩はばの平均。(上から2けたの概数^{がいすう}で求めます。)

$$\frac{(6.2 + 6.4 + 6.2 + 6.3 + 6.3)}{(10 \text{歩の合計})} \div \frac{(10 \times 5)}{(歩はばの個数)} = 0.628$$

$$0.6 \overset{3}{\times} 8$$

② 歩はばを求めます。

$$0.63m = 63cm$$

約63cm

③ 85歩歩いたときのきよりを求めます。

(きより) = (歩はば) × (歩数) の式にあてはめて求めます。

$$(きより) = 0.63 \times 85 = 53.55 (m)$$

歩はばは，上から2けたの概数だから，きよりも上から2けたの概数で求めます。

$$53.55 \overset{4}{\times} 5 = 54 \quad \text{約} \underline{54m}$$